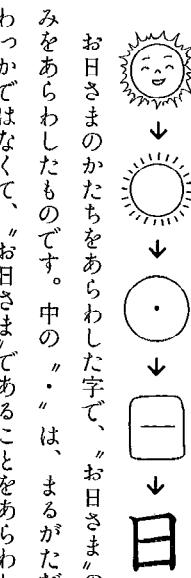


むかしは、"とき"はお日さまのうごきではかりました。それで"とき"は"時(2年154)"という字です。お日さまがすがたをあらわして、つぎにまたすがたをあらわすまでの"時"のながさを"一日"といいます。

この"日"に、いまでは"にちよう"から"どよう"まで、七つのなまえがつけられています。

また、"ひる"、"ひるま"のいみにつかうこともあります。



成り立ち

| | | |
|----|-----|----|
| 二年 | 筆順 | 画数 |
| 一 | 一 二 | 4 |
| 二 | 二 一 | 2 |

ふたつ・ふたりつ

"ふたつ"のぼうで、"ふたつ"といいうみをあらわしたものです。アラビアすう字の"2"は、ふたつのぼうの"二"をつないで"二"となつたものです。

"ふたつ"のぼうで、"ふたつ"といいうみをあらわしたものです。アラビアすう字の"2"は、ふたつのぼうの"二"をつないで"二"となつたものです。



成り立ち

| | | |
|----|-----|----|
| 一年 | 筆順 | 画数 |
| 一 | 一 二 | 2 |

ふたつ・ふたりつ

△かみは「まい」「まい」とかぞえ、ほんは「さつ二さつ」とかぞえます。

△二重(二つに重なること)。「二重」ともいいます。また、「おなじものが重なる」こと。

△二兎(うさぎ)を追う者は一兎をも得ず(一とに一つのことをしようとするなどちらもしつぱいする)つかいます。

△二重(二つに重なること)。「二重」ともいいます。また、「おなじものが重なる」こと。

△二兎(うさぎ)を追う者は一兎をも得ず(一とに一つのことをしようとするなどちらもしつぱいする)

使い方

熟語例

- ▽朝日(朝のお日さま。のぼったばかりのたいよう)
- ▽日夜(ひると夜。まだ、「ひるも夜も」といういみでいつも」といういみ)
- ▽十日は日よう日で、休日です。
- ▽あさお起きるとすぐさんぱすることが日課の一つです。
- ▽近日(ちかくのうち。「その日」が近くにせまっているといふいみのことば)
- ▽終日(一日じゅう。あさからばんまで。「その日」が終わるまで」といういみのことば)
- ▽日限(いつまでと「日を限る」こと。また「限られた日」のこと)。
- ▽日課(まい日きめておこなつてあるしごと)
- ▽今日(きょう) 昨日(きのう) 明日(あす) 一日(いつ) 二日(ふつか) 三日(さんか) 四日(よんか) 五日(ごか) 六日(ろくか) 七日(しちか) 八日(はちか) 九日(くわんか) 十日(じゅうか) 日和(ひわ)

特別な使い方